

# 主要地方道 錦湯前線（一武バイパス）の整備概要

主要地方道錦湯前線は、球磨郡錦町の国道219号を起点とし、球磨郡湯前町の国道219号へ至る延長約20.4kmの主要幹線道路です。

現在の県道は、球磨地域の観光資源や沿線に立地する工業団地への主要なアクセス道路となっており、大型車両の通行が多い状況となっています。しかし、道路の幅員が狭く、屈曲して見通しが悪いため、通行車両同士のすれ違いや児童の通学において危険な状況となっていました。

このため、県は平成18年度に道路改良事業に着手し、バイパス整備を進めています。今回の部分供用により工業団地へ向かう大型車両のスムーズな通行と児童の通学路としての安全性向上に寄与することが期待されます。

